

くろーむぶっく ていがくねんよう Chromebookのきまり（低学年用）

学校からかし出されるChromebookは色々なつかい方ができ、学習に生かすことができます。しかし、つかい方をまちがえるとこわれたり、けんかのもとになったり、しんぱいされることもあります。ここに書いてあるきまりをもとに、自分で考えたり、先生やおうちの人とはなしたりしながら、Chromebookをじょうずに、きもちよくつかっていきましょう。

とくにきをつけてほしいこと



1 Chromebookをみんなできもちよくつかうために

- じゅぎょういがいのじかんに、メールやクラスルームなどをつかって、こどもたちどうしてやりとりをしてはいけません。
- Chromebookは、よる8じをこえたらつかいません。
- まわりのひとをきずつかけたり、いやなきもちにさせたりすることをかかないようにしましょう。

2 こじんじょうほうをまもるためにしてはいけないこと

- じぶんのIDや、パスワードをほかのひとにおしえてはいけません。
- Chromebookをほかの人にかしたり、ほかの人のChromebookをかってにさわったりしてはいけません。
- ほかの人のIDで、Chromebookにログインしてはいけません。
- みんなでつかうクラウドサーバなどにほぞんしてあるほかの人のデータをひらいたり、かえたりしてはいけません。
- かってにカメラでほかの人や、人の家や持ちものなどのしゃしんをとってはいけません。しゃしんをとりたい時には、かならずしゃしんをとってもよいか聞いてからとりましょう。

3 うまく動かない時

- Chromebookやインターネットがつかえなくなって、再起動をしてももとにもどらない時や、こわれたり、なくしたりしたと思った時は、学校では先生に、家ではおうちの人につたえて、つぎのヘルプデスクにといあわせをしてもらってください。

ヘルプデスク（株式会社アスコン）

- * 電話での問い合わせ フリーダイヤル 0120-999-293
(一般電話、携帯電話の利用可能)
受付時間 9:00~17:00 ※ 土・日・祝日も含みます。
- * ウェブでの問い合わせ <https://support.ascon.co.jp/education/> (24時間受付)

つかうときにきをつけること

1 つかう時とばしよ

- 学校では、じゅぎょうのあいだだけ、つかいましょう。きゅうけいじかんなどにつかいたいときは、かならず先生につかってもよいか聞いてからつかいましょう。
- ふだんは、学校と自分の家でつかいます。ただし、学校の学習につかうときは、ほかのばしよでつかえます。その時は、なくしたり、しらない人にとられたり、おとしてこわしたりすることなどがないように、とくに気をつけましょう。

2 つかい方

- ていねいにつかいましょう。(なげない、つよくおさえない、水にぬらさないなど)
- Chromebookを持ってはしたり、つかいながらあるいたりしない。
- つぎのようなことはChromebookがこわれるもとなるので、やめましょう。
 - ・ じめんにそのままおく
 - ・ ストーブやたいようのひかりがあたるところなど、あついところにおく
 - ・ がめんをえんぴつやシャープペンシルなどでさわる
 - ・ じめじめしたところでつかう
 - ・ じしゃくをちかづけ
 - ・ ものをたべたりのんだりしながらつかう
 - ・ かみやペンをはさんで、がめん(ふた)をとじる
- つくったもの(しゃしんやどうがも)やインターネットからとりこんだデータはきめられたクラウドサーバにほぞんし、ほんたいにほぞしないようにしましょう。
- 見ることのできるサイトはきまっていますが、あやしいサイトに入ってしまった時にはすぐに消し、先生やおうちの人につたえましょう。

インターネットは正しくつかえば学習をひろめたり、生活をべんりにしたりすることができますが、中にはあやしいサイトや、個人情報をぬすもうとするきけんなサイトもあります。

学校からかし出すChromebookでは、きけんなサイトやSNS・ブログ、オンラインゲームなどをブロックしていますが、おうちの人とインターネットをつかう時のやくそくをきちんときめ、自分やほかの人の個人情報(名前、じゅうしょ、でんわばんごう、メールアドレス、しゃしんなど)は、インターネット上にのせません。

3 家でつかう時

- がっこうに行くときやかえる時はカバンから出さないようにしましょう。
- いつ、どのくらいつかうかは、おうちの人とよく話し合ってください。
- ぐっすりねむれるよう、ねる時こくの30分前には、つかうのをやめるようにしましょう。
- 目をまもるために、あかるいへやでつかうようにしましょう。
- 目をまもるために、がめんにちかづきすぎないようにきをつけましょう。
- 30分にいちどはおくを見るなど、目を休ませながらつかいましょう。
- つぎの日の学校でつかえるように、バッテリーののこっているりょうがへってきていたら、じゅうでんをするようにしましょう。